

令和 5 年度 学校経営環境分析書

警固屋中学校区 校番 8 学校名 警固屋中学校

1 学校の内外環境の分析

外部環境	<p>O (支援的要因)</p> <p><地域></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域が大変協力的である。 ○ 祭り等の伝統行事や桜祭りなどの地域行事により、地域全体で活気を生み出している。 <p><保護者></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校に協力的な保護者が多い。 ○ 学園としての教育活動が当たり前のことになっている。 <p><国・県・市・環境></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新しい時代に必要となる資質・能力の育成を目指している。 ○ 学びの変革を推進し、15歳の生徒に身に付けておいてほしい力を示している。 ○ 小中一貫教育を基盤とし、共に学び、自分を磨き、未来を創る生徒の育成を目指し、「未来の学び」実践事業に取り組む教育活動の向上を図る。 ○ 効率的に教育の質的向上を図るため、業務改善を推進している。 	<p>S (強み)</p> <p><生徒></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教職員が一人一人の生徒を把握し、情報共有する体制がある。 ○ 9割近くの生徒が、地域で進んで挨拶をしている。 ○ 「物事を最後までやり遂げてうれしかったことがある」「努力すれば自分もたいていのことはできると思う」と回答した生徒は9割以上である。 <p><教職員></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 経験豊富な教職員が若手教員を指導する体制がある。 ○ 生徒一人一人にしっかりと関わろうという意識を持った教職員が多い。 ○ 地域の歴史を踏まえた教育活動を継承している。 <p><小中一貫等></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校と連携し、乗り入れ授業や異学年交流等の教育活動や学園研修が定着している。 	内部環境	<p>支援的要因と強みを生かした活動・取組は</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域・保護者と連携した教育活動を推進する。 ○ 小規模校の良さを生かし、生徒一人一人の活躍の場を仕組み、充実感を味わわせる。 ○ 地域や学校の伝統を継承する。 ○ 生徒に将来の展望を持たせ、目標を達成しようとする意欲をもたせる教育活動を進める。 ○ 小中一貫教育校として新たな価値を創造する学校組織の構築
	<p>T (阻害的要因)</p> <p><地域></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢化が進み、地域行事の運営に高齢者が多く携わっている。 ○ 少子化が進んでおり、部活動などで転出する生徒がいる。 ○ 急傾斜地が多く災害の危険性が高い。 ○ 交通危険箇所が多く、約6割の生徒がバス通学をしている。 <p><保護者></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭の教育力が低下している。 ○ 懇談会等に出席する保護者が少ない場合がある。 <p><国・県・市・環境></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 社会の変化に伴い、学校教育に求められることが、多岐・多様化し、限られた教育資源の中では、十分な対応ができていない。 	<p>W (弱み)</p> <p><生徒></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な生活習慣や基礎学力の定着に課題がある。 ○ 家庭学習の習慣が定着していない生徒もいる。 ○ 固定した人間関係の中で、うまくコミュニケーションをとれない生徒もいる。 <p><教職員></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の学力向上のため、ICTスキルや授業力の向上が求められている。 ○ 個々の生徒に対応するため、特別支援教育の視点を持った教育活動が求められている。 <p><小中一貫等></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小中で行う教育活動を組織的に進めていく必要がある。 	内部環境	<p>弱みを克服し、阻害要因を回避する解決策は</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者との連携・啓発を図り、保護者と協力のもとで教育を進める。 ○ 生徒の学力向上に向けて、授業改善を進め、個に応じた指導を行う。 ○ 家庭学習の習慣や睡眠時間、メディアの使用時間など、基本的な生活習慣を定着させ、自己コントロールできる力を育成する。 ○ 誰もが安全で安心して学べる教育環境を創る。 ○ 優先順位をつけた職務の遂行をする。 ○ 防災教育を充実させる。(中学生が地域のリーダーとなるような防災教育)

2 重点課題

- ① 未来に貢献する「未来に挑む自分を創る」(資質・能力を培う)ため、主体的な学びを推進する。(確かな学力)
- ② 誰もが安全で安心して学べる教育環境を確保する。
- ③ 健康で生きがいをもって生涯を生き抜くため、生活習慣の基盤づくりをする。
- ④ 教職員が自らの意欲と能力を発揮できる教育環境を整備する。
- ⑤ 小中一貫教育校として新たな価値を創造する学校組織を構築していく。